

水害時の迅速・的確な応急対策活動の定着、風水害に関する知識の普及、防災意識の向上を目的に、全市一斉訓練が各区の会場で実施されました。

南区では、笠東小学校が会場となりました。記録的な大雨により天白川が氾濫危険水位（6.05m）を超えたとの想定で、高齢者等避難発令・避難所開設・避難指示発令・避難所運営訓練等を実施しました。校庭では、体験型の防災教室も行われ、皆さん真剣に訓練に参加されていました。



▲防災教室(体験・啓発ブース)

救命ボート体験



▲救命ボートによる救助訓練が、プールで行われました。ライフジャケットを着て、オールで対岸まで漕ぎました。訓練では、ロープを伝って進みましたが、実際の水害ではどうなるのか、という不安を口にする中学生もいました。

水防工法訓練



▲南消防署・消防団・南土木事務所による水防工法訓練が行われました。水害時は、住居等に侵入してくる水をどう防ぐかも重要になるため、リレー形式で土のう袋を運ぶ訓練をしました。

防災講演会



▲大同大学の鷺見教授による「南区の風水害の危険について」の講演がありました。水害に関するハザードマップ4種類（洪水・内水・高潮・津波）の解説のほか、助かるための避難行動についてもお話がありました。

参加者の声

- ・救命ボートに乗るのは初めて。ちょっと怖かったけど、助かる実感が持てた。
- ・顔の見える関係づくりが大事と思い、近所の人を誘って参加してよかった。
- ・冠水を経験したことがある。災害時に役に立つ訓練ができてよかった。

主催者の声

- ・過去に伊勢湾台風や東海豪雨で大きな被害を受けたことを忘れてはならない。
- ・あらためて常日頃の備えや、毎年の訓練が大切だと感じた。
- ・どんな災害も共助が最大の力となる。みんなでこの地域を良くしていきましょう。